第60回厚木市民文化祭俳句大会表彰者一覧表

令和6年10月27日

順位	賞	総得点	得点	句番	受賞句	住所	氏名
1	厚木市長賞	18	5	17	いのち有限り現役菜を間引く	平塚	石黒　和風
			5	76	いつ逝くも悔ひは残さぬ芋の露		
			8	107	棄て切れぬ煩悩幾つからす瓜		
2	厚木市議会議長賞	16	5	20	繰言を聞くも介護やちちろ鳴く	厚木	大山　道子
			8	44	長き夜や指に生まるる千羽鶴		
			3	59	空高し笑ひは世界共通語		
3	厚木市教育長賞	14	7	19	鰯網たぐる卒寿の力こぶ	茅ヶ崎	清水　呑舟
			1	94	熱き茶に身を立て直す夜業かな		
			6	97	咲く力咲き切る命草の花		
4	県俳連会長賞	11	4	14	棒で画く古老の指図秋祭り	厚木	吉岡　孝三
			2	65	村芝居おかめの腹で電話鳴る		
			5	100	添え木して母より届く山の芋		
5	厚木市俳句協会会長賞	8	2	10	毬栗や親の教へに抗ひて	厚木	榎本　正行
			4	62	虚栗刺さず威張らずでしゃ張らず		
			2	102	母からの文無き便り秋茄子		
6	入選	6	5	4	錦秋や大人始めの投票日	厚木	赤堀　仁美
			1	69	黄落の並木をゆるりシニアカー		
7	入選	6	1	26	秋澄むや孤独にさとき烏鳴き	座間	桑野コワシ
			4	45	息継ぎを拒むがごとく地虫鳴く		
			1	92	子持鮎鰭に手厚き化粧塩		
8	入選	6	1	30	小鳥来る津波なければ地震なくば	町田	谷川　治
			4	49	妻看取る老々介護りんご剥く		
			1	88	返りくる木霊老いたり鰯雲		
9	入選	5	2	6	ＭＬＢ修羅の相打つ秋薊	秦野	酒井　天敏
			2	74	帰燕集る一夜塒（ねぐら）の葦が原		
			1	113	晩秋の暁（ぎょう）月歴として明かし		
10	入選	5	3	16	色づきて夕日はなさぬ柿ひとつ	厚木	池田　直子
			1	60	ぬばたまの闇つかみ合ふ曼珠沙華		
			1	98	湖のまばたき幾多律の風		
11	入選	5	2	22	父祖からの大木の柿持て余す	厚木	川島　浩平
			2	25	秋うらら八十歳は通過点		
			1	42	柿たわわ満面の笑みお稚児さん		
12	入選	4	2	2	秋あかね昨日と違ふ空の色	厚木	福井　礼子
			1	71	せかされて急かされて山薄紅葉		
			1	111	拾はるる運人間にどんぐりに		
13	入選	4	1	28	こま参道バスを待つ間や柿紅葉	厚木	内海　洋子
			2	47	秋桜や是より木曽路始まりぬ		
			1	90	釣果なき背ナを包まむ秋夕焼		
14	入選	4	2	24	水澄んで弁財天の鯉ふとし	厚木	末澤　美和
			2	95	御利益の銀杏拾ひまた拾ひ		
15	入選	3	1	3	交わらぬ二本のレール秋夕焼け	秦野	鈴呂屋こやん
			2	73	若き日は世にあらがうや蔦紅葉		
16	入選	3	3	101	不揃ひの林檎の尻や反抗期	川崎	荒　理依子
17	入選	3	1	15	木犀の香や大陸の夢を見る	厚木	須藤三津子
			2	67	日の暮れの俄かに広し刈田かな		
18	入選	3	2	23	日に干され辛みますます鷹の爪	厚木	櫻井ヤス子
			1	91	秋風を誘ふおわらや胡弓の音		
19	入選	2	1	5	母召さる秋風に乗り天国へ	厚木	宮内みちる
			1	108	真葛伸ぶ木々の夜となりにける		
20	入選	2	1	7	子等巣立ち今が一番秋夕焼	厚木	川野　和子
			1	70	ひとり言増へる二人や花茗荷		
特選句賞	県俳連会長（清水呑舟）		3	100	添え木して母より届く山の芋	厚木	吉岡　孝三
	厚俳協会長（川島浩平）		1	97	咲く力咲き切る命草の花	茅ヶ崎	清水　呑舟
	厚俳協会副会長（岡本　保）		3	3	交わらぬ二本のレールの秋夕焼け	秦野	鈴呂屋こやん
	厚俳協会副会長（川島　健作）		1	92	子持鮎鰭に手厚き化粧塩	座間	桑野コワシ